

4 ケアマネ業務の感慨

勝田台居宅支援事業所 山崎 タキヨ

Tさんの入院に立ち会いながら、退院とはならず、この仕事の奥深さや難しさを改めて感じています。『あなたたちの仕事は尊いものね』と、日頃からヘルパーに心温まる言葉を下さったのですが、ご本人には入院時の立会人や、駆けつける家族がいません。Tさんの希望は以前から自宅で最期を迎えることでした。でも、家族がいないと終末期の在宅医療を受ける医師も少なく、入院時の保証人も居ず、入院できたら簡単には退院させてもらえず、病院で最期を迎えることにもなります。これまでの支援を振り返り「もっと他にできたのではないか」と考えてしまいます。ケアマネとして、早期に在宅医療に変更できなかったのかと悔しい思いです。在宅時の主治医に対する思いを尊重したつもりでしたが、往診も入院もなかなかできない医院なのに、主治医の変更を説得できなかった自分の無力を感じます。ご本人は『家に帰りたいよ。みんなの世話になりたい!』と言いながら療養病棟に入院中です。

この仕事は人生の最期に関わることが多いですが、納得のいく最期を迎えられる事ばかりではありません。でも、できる限り利用者様と一緒に最期に向かい合い、力を尽くしたいと、Tさんの支援を振り返り強く感じているところです。



☆ 定例研修 (11月15日) 感想から

〔認知症の方への理解〕

- ・ 認知症と、ひとくくりにはできないと思った。
一人ひとりの個性にあった対応を探していきたい
- ・ 介護をしている家族への理解をすることにより、利用者さんに対する家族も優しくなれる！納得です

〔コミュニケーションについて〕

- ・ ヘルパーは利用者さんに対し、優しい笑顔、うなずき、優しいしぐさを心掛けることがコミュニケーションの基本だと思う。
- ・ 挨拶は相手の存在を認めている行為として信頼関係の土台になっていることを再確認する。
- ・ 利用者との距離感は常に意識しながら行動（ケア）することの大切さを学んだ（利用者に入り込みすぎない）

◎26年利用者アンケート結果について

ご利用者様から頂いた貴重なご意見を大いに参考にさせていただき、サービスの質の向上に努めます。

回収率 66% 178 (回答) / 270 (依頼数)

サービスの評価 ①満足 + ほぼ満足 = 165 通

②どちらでもない + やや不満 = 13 通でした

評価の理由として①については、たくさんの方から過大な評価を頂きました

②については事務所内の連絡不十分だった事例や、ご利用者様の立場にたつての対応が出来なかったご意見を頂き、スタッフ全員がきちんと対応するよう徹底いたしました



◎26年9月以降ご支援くださった賛助会員

田端 明子様 降旗 富紀子様

心よりお礼申し上げます





第11回やちよ市民活動サポートセンター祭り

26年11月16日(日) 10~17時

会場 フルルガーデン八千代 噴水広場

八千代市内で活動中の21団体がそれぞれの活動のPRと触れ合う目的のお祭りに、当法人は、パネル展示でボランティア活動(ふれあいサロン・傾聴活動)を紹介。サロンのボランティアスタッフが買い物客の子供たちに、折り紙のクリスマス飾りを一緒に作る体験は大盛況でスタッフは休む間もない程でした。



微笑みの輪

～ ヘルパーのリレーメッセージ

上盛 奈津希さん

*ユーアイに入会してどのくらい?

・1年1か月

*好きな言葉は

・命どう宝(ぬちどうたから) 沖縄の方言で“命こそ宝だよ”という意味

*心掛けている事

・丁寧な言葉使い

*利用者さんからの心に残っている言葉は?

・歳をとって、良いことなんかひとつもない(何人もの方に言われました)

これが現実かと思うと…

*仕事以外で楽しいことは?

・食べること! 飲むこと! 汗を流すこと!

(次回は高柳知子さんをお願いします)

*上盛さんに、もう少し詳しくお伺いしました

仕事を始めて約1年。まだまだ足りないことが多く、未熟さを感じる日々です。色々な方と出会い、今はただ、沢山の経験がこれから先の力になると思うので、事務所からお話しがあった仕事にはチャレンジしていきたいです。

この介護の現場はコミュニケーションが大切だと感じたことが多々ありました。ご近所のボランティア、お隣さんの声掛け、ヘルパーや訪問サービスのスタッフなど、沢山の方とコミュニケーションをとり生活していくことが人間らしくて素晴らしい!と感じます。

独居が増えていく中、一日一笑、人と人が話し顔を見て笑う!それは元気の源になると思いました。

♡ 語らいパートナーの会・ボランティア活動



ショートステイの部屋での活動

昔の子供の話をする。お店をやってお酒、文具、お菓子、メザシ、つくだ煮、売っていたものを思い出して「何でもあったのよ。朝、子供たちがノート、鉛筆、消しゴム、画用紙、買いに来て忙しかった!家の前が学校で神社があってよく遊んだ…」「あ～あ、久しぶりに田舎の事思い出した。今どうなっているかしらね～」何度も何度も話してくれた。職員の方も「〇〇さん、今日はお顔が生き生きしてるわよ!」と、私も田舎の風景が思い描かれとても幸せなひとときでした。(太田・清水・高橋)